



# 豊岡市立歴史博物館 ニュース

—但馬国府・国分寺館—

2019.9 第56号

豊岡市立歴史博物館  
—但馬国府・国分寺館—

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町林布 808  
TEL 0796-42-6111 fax 0796-42-6112  
http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/



宗鏡寺本堂

## 第47回企画展 沢庵和尚ゆかりの寺

# 宗鏡寺展

出石城下町の東に位置する入佐山いるさやまの麓にある宗鏡寺は、室町時代に但馬国の守護大名であった山名氏の菩提寺として創建されました。しかし山名氏の治世後、江戸時代に入る頃には、宗鏡寺は荒れ果てていました。見かねた出石出身の沢庵和尚が、親交のあった出石藩主に説き、寺は再建されることとなりました。晩年に沢庵が小さな庵を設けて暮らしたことなどから、城下町の人々から親

しみをもって「沢庵寺」と呼ばれ、現在も臨済宗大徳寺派の禅刹として広く知られています。

今回の企画展は宗鏡寺の全面的なご協力により、数多く保存されている寺宝を紹介しながら、出石城下町の名刹宗鏡寺の歴史とともに、動乱の時代を生きた沢庵和尚の生涯を振り返ります。

■会 期 2019年9月6日(金)～11月26日(火)  
■展示協力 宗鏡寺

## 宗鏡寺と山名氏

宗鏡寺は、明徳3年（1392）に創建された寺院で、正式には円覚山宗鏡禪寺といます。但馬守護大名の山名氏清が明昶を招き、明昶が師の東福寺大道一以を開山に請じて寺を開いたことに始まります。また「宗鏡寺」の寺名は、氏清の法号から名づけられました。創立の事情を明らかにする史料は残されていませんが、江戸時代には願成寺・正眼寺・極楽寺・勝福寺の塔頭をもつ、但馬地方屈指の禪寺でした。

山名氏の但馬統治の本城は、出石町宮内及び袴狭に所在する此隅山城です。標高137mの小高い山の頂にあり、山のすぐ南には但馬一の宮である出石神社があります。宗鏡寺も元々、この山城の南麓にありました。この辺りには「願成寺」や、城主の住まいがあったであろう「御屋敷」などの字名が今でも残っています。

平成7年（1995）におこなわれた宮内堀脇遺跡の発掘調査では、16世紀前半の武家屋敷跡が発見され、その後の調査により、山城の南西側に武家地が広がっていたことが分かっています。天正2年（1574）の有子山への移城まで、この辺りに城下町があったと考えられます。

## 宗鏡寺の再興

天正8年（1580）、織田軍の但馬攻めによって但馬山名氏は滅び、山名氏の菩提寺であった宗鏡寺も荒廃しました。しかし、元和2年（1616）に、出石藩主小出吉英によって再興されました。これは出石出身の沢庵が吉英に説いて実現したものとされます。吉英は以前より沢庵と親交があり、沢庵のために京都の大徳寺中に寺を建立しようとした。しかし、沢庵はこれを固辞し、代わりにかつて修業した宗鏡寺の再興を言いましたのでしょう。本堂書院の庭園も、この折に沢庵が作庭したものと伝わっています。



宮内堀脇遺跡（室町時代の武家屋敷跡）



宗鏡寺本堂書院庭園（兵庫県指定文化財）

## ● 沢庵和尚と出石

沢庵は天正元年（1573）に山名氏の家臣、秋庭能登守綱典の息子として出石に生まれました。永禄12年（1569）に織田軍の但馬攻めにより此隅山城が落城し、山名氏が新たに有子山城を築城するのが、沢庵生誕の翌年のこと。まさに戦乱の最中でした。天正8年（1580）には、有子山城が再度織田軍の攻撃を受け、山名氏は滅亡します。沢庵8歳の時です。その後、10歳で沢庵は仏門に入り、昌念寺で修行します。そして14歳の時、宗鏡寺の塔頭勝福寺に移りました。

文禄元年（1592）、豊臣秀吉の家臣で、当時有子山城主であった前野長康が京都大徳寺から董甫宗仲を招きました。これがその後の沢庵の人生にとって大きな転換点となります。沢庵は董甫に参禅し、2年後、大徳寺に帰ることとなった董甫とともに京にのぼり、大徳寺三玄院に入りました。その後、京都や大阪などで修業を積んだ沢庵は、やがて大徳寺の住持（僧職の最高位）にまで出世します。

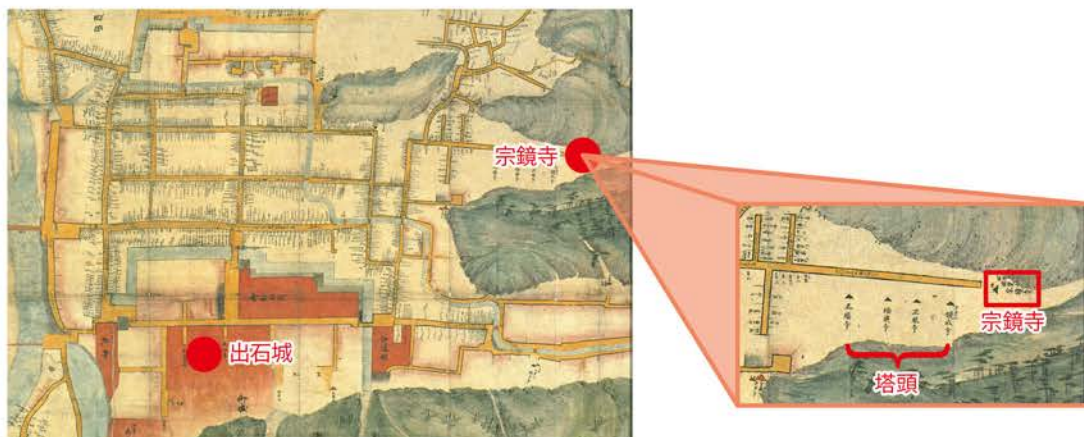


沢庵和尚自賛頂相（豊岡市指定文化財）

## ● 出石城の鬼門

鬼門とは、北東（長：丑と寅の間）の方角のこと。陰陽道では、鬼が出入りする方角として、万事に忌むべき方角としています。鬼と聞くと、頭に角が生えトラ柄のパンツをはいた姿を想像することが多いと思いますが、これは「うし・とら」から、牛の角とトラ柄のパンツという組み合わせになったと考えられています。

平安京では鬼門の方角に比叡山延暦寺が建立され、江戸城では上野寛永寺が鬼門を守っています。出石城では鬼門の方向にちょうど宗鏡寺が置かれています。城下図によると反対の裏鬼門の方角には、福成寺を筆頭とする寺町が配されています。宗鏡寺は、鬼門から城下町を守るための欠かせない役割を担っているのです。



出石城下図（文化7年[1810]）

## 藩主の廟所 びょうしょ

江戸時代の出石藩主は、小出、松平、仙石の三家の順に引き継がれていきます。この内、小出英安・<sup>ふきやす</sup>仙石政辰・仙石久道の廟所が宗鏡寺境内にあります。小出家4代目の英安は、宗鏡寺に開山堂を中興建立した人物で、堂中には初代及び2代の小出吉政・吉英父子像が安置されています。仙石政辰・久道は、江戸時代後期の藩主で、久道は亡くなる前に宗鏡寺を墓所とすることを言い残しました。また、政辰は藩校「弘道館」の前身となる学問所を開設するなど文化人として知られる人物。縁あって出石を治めることとなった彼らも、禅僧で、書画や詩文にも通じるなど、さまざまな顔をもつ沢庵の遺徳にふれ、ゆかりの場所に葬られることを望んだのでしょう。



仙石政辰の墓



開山堂

## おわりに

後年、沢庵は幕府に対して意見を曲げず流罪となるなど、反骨の人としても知られています。また亡くなる前に、墓に石塔を建てないこと、葬儀の弔問を辞退することなど、あくまで一介の僧として死んでいこうとする遺戒を残しました。そうした沢庵の人となりは、今なお人々を魅了してやみません。宗鏡寺は400年以上も出石城下町の鬼門をまもりながら、沢庵の遺徳を人々に伝えています。

## お知らせ

### ■対談「宗鏡寺と沢庵和尚」

日 時：9月29日（日）午後1時30分～

会 場：豊岡市立歴史博物館 企画展示室

\*聴講には入館料が必要です。予約は不要。

### ■呈茶会

日 時：10月19日（土）午後1時～4時

会 場：豊岡市立歴史博物館 企画展示室

参加費：500円

### ■現地見学「特別観覧！宗鏡寺の文化財」

日 時：11月14日（木）午前10時～

会 場：宗鏡寺

定 員：先着20名 申込先：0796-42-6111

拝観料：300円

集合場所：宗鏡寺駐車場

他にも事業があります。詳細はホームページで。

## ご利用案内

■開館時間 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

■休館日 水曜日

■入館料 一般 500(400)円  
高校生 200(150)円  
小中学生 150(100)円  
\*( )は20名様以上の団体料金  
\* 県内小中学生は無料(ココロカードを提示してください)  
\* 65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は半額



■最新情報はホームページをご覧ください。  
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>

■facebook ページ公開中！  
<http://www.facebook.com/tajima.kokubunjikan>